

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

May 2017
Vol. 57
毎月10日発行

【本部】 城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201 TEL.06-6939-0008	【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17F・3F TEL.06-6934-8117	
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467	

新学年2ヶ月経過。今だから間に合う、 受験に向けた学習計画のポイント

高木 秀章(塾長)



新緑が美しい季節になりました。若葉の緑は、夏の緑とはまた違い、爽やかで眩しく、私達の気持ちを前向きにしてくれます。

生徒達も新学年がスタートして2ヶ月、新しいクラスにも慣れてきた頃ではないでしょうか。反面、友達関係においては互いに緊張感が緩むことで、トラブルが出始める時期でもあります。また、中学1年生はクラブが本格的にスタートし、今月の下旬には初めての定期テストがあります。生徒達は新しい環境に適応するため、心身共に張り詰めた状態が続きますので、ご家庭におかれましては、子供の様子や体調の変化に注意しつつ、声かけをしていただければと思います。

ところで、カイチではテスト毎にスケジュールシートを作成し、目標に基づき学習計画を立て、その進捗を確認するよう指導していますが、皆さんは受験に対する学習計画は立てていますか？

中1・2生は、「クラブや定期テストが忙しくて…」「まだ、自分は受験生ではないし…。」と思う人もいるかもしれませんが、志望校合格には、**出来るだけ早い単元学習完了と、徹底した志望校対策という2つ柱が組み込まれた学習計画が必要です。**

その理由の1つが「受験問題の難化」です。

この2、3年で公立高校の受験問題は、問題文章量の増加と共に、与えられた情報の論理的に応用し答えを導く思考力を問う問題や、そこから自分の意見を述べる記述式問題が高配点で出題されるようになり、全体的に難化しています。

入試では、今まで以上に「速く読み・速く考え・速く書く」ことが必要とされます。これらの力は学力の「地力」とも言える力であり、付け焼き刃の勉強では決して身に付きません。

受験で求められる「速さ」に対応するためには、普段から時間を計り、時間を意識して勉強する必要があります。この問題は何分で解く、単語100個は何分で覚えるなど、常に時間を決めて勉強することで、集中力が増し、より速く問題を解けるようになります。また、どのような問題をどれぐらいの時間で解けるかがわかることで、テスト本番での時間配分のトレーニングにもなります。時間を計る際に、見直し時間も考慮することによって正確に問題を解く力も同時に育成することができます。

「読解力」「思考力」「記述力」の育成には、宿題やテスト勉強とは別に、本や新聞を読むことや、天声人語や社説の要約または、意見文を200語から300語程度でまとめる練習が効果的です。

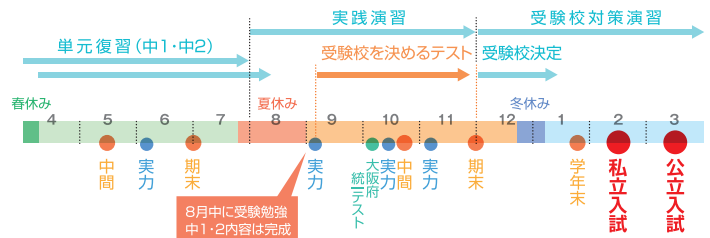
生徒の中には、新聞の天声人語や社説と聞くと「入試に直接役立つ」「難しい」と考える人がいるかもしれませんが、制限時間内で、要点に線を引く、文章構成を練り、書き切るまでの頭の使い方は、時間内で入試問題を解く時と全く同じです。日々、反復トレーニングすることで、入試問題に対応するための基礎力は確実に身に付きます。また、具体的内容で書かれている社説は、抽象的な内容で書かれる入試問題と比べむしろ読み易い内容です。また、小論文や課題作文を書く際のバックヤードとなる時事知識の獲得や、物の見方、文書構成を学ぶ教材としても最適です。

入試で問われる、学力の地力である「速く読み・速く考え・速く書く」力は、学年に関係なく普段の学習の中で、身に付けなければならないことを知っておいてください。

更に、出来るだけ早く単元学習を完了しなければならない理由が、「志望校

を決定するテストが中3の秋口に集中している」ことです。

下記の中学3年生のタイムスケジュールをご覧ください。



10月に内申点に大きく影響する大阪市統一テスト、同じく10月と11月には私立受験校を決定する実力テストがあります。つまり、これらのテストに対応するためには、遅くとも夏休みまでに中1・中2の単元学習は一旦終了し、夏期講習でその復習とそれらを使った応用問題の練習に取り組みなければなりません。

ここから考えると、中学3年生は、単元の復習を急がなければなりませんし、中学1・2年生の皆さんも、教科書で習う単元内容は各学年で習ったその時に、確実に理解し定着させなければならないことが分かります。そのためにも、定期テスト勉強を疎かにしないこと、季節講習ごとに単元内容を徹底的に復習することが非常に大切です。

特に中学2年生の皆さんは、1学期までの内容理解が、残りの単元内容の理解力と受験勉強での応用力を決定します。1学期までの内容は受験全般の40%に過ぎませんが、残りの60%の基礎を成す部分です。ですから、これら基礎部分の学習が徹底できているかどうかで、今後の伸びは決まると言っても過言ではありません。

よって、中学2年生(中学3年生も)は普段から、中学1年生(前学年)内容との関係性を確認しながら勉強することをお勧めします。例えば、一般動詞の過去形を学んでいるなら、中学1年生の現在形はどうか、三単現のsやdoesやdoとの区別を簡単に見ておきます。こうすることで、中2内容を学びながら、中1内容の復習もでき、互いの関係性や共通性から各単元を理解することで、記憶も深まり学習効果が高まります。

このように、「受験問題が難化していること」と「受験校を決定するテストが秋口に集中していること」を考えたとき、「出来るだけ早い単元学習の完了」という意味は理解できると思います。また、それが精神的にも体力的にも楽に受験勉強を進める方法でもあります。

もちろん、塾では、上記を考慮しカリキュラムを組んでいますが、更に、志望校ごとの出題傾向と弱点箇所の補強は生徒各自で考えておく必要があります。また、クラブ活動の引退時期、大会日程や練習時間なども、クラブ毎に異なります。引退時期が遅いクラブに所属する人や大切なテストがクラブの大会時期と重なる人などは、当然、他の人より更に単元学習の完了を前倒しにする必要があります。

新学年に慣れ、夏休みまで時間がある今だからこそ、受験を見据えた学習計画を考える時です。今だから間に合うということも事実なのです。そこから、受験を全体的に見ることで、今自分がすべきことが明確になるのです。学習計画の詳しい立て方などについて、わからないことは各教室の担当講師に何でも相談してください。私達も全力でサポートいたします。

CLASSROOM REPORT 教室レポート

出会い・別れ・再会 新しい諸口教室がスタートしました。

高木 直也(諸口教室)

新学年が始まり、はや3か月が経過しました。カイチでは本年度から授業にタブレットが導入されるなど塾としても大きく変化しました。それに伴い、諸口教室の生徒たちの学習の様子にも変化が見られました。

まずは、自分の授業の日ではないのに自主的に塾に来て、自学自習に来る生徒が増えたことです。タブレット授業の良いところはタブレットと机があればいつでも受けたい授業が受講可能であるところ。その利点を生徒達はうまく活用し、前回の授業でわからなかった単元を別の日に来て再度視聴したり、これまでの単元で分からないままにしていた単元を自主的に視聴し学習したりと、我々大人が想像していた以上に上手くタブレットを活用していることに感心させられました。「授業を受けたいときに受けることができ、わからないところは教室にいる先生に聞ける」

この新しい環境に、大人よりも早く順応し学習に創意工夫が生まれてきている今の状況は生徒の成長をこれまで以上に促進して

いると思います。今後は非常に楽しみです。

次に新学期早々に行われた春期講習。諸口教室としては初の中学1年生2クラス編成でのスタート。これまで経験したことのない学習環境に新規生たちが順応できるかと心配しましたが、授業中、休み時間とメリハリをつけ日程を消化していく姿に一安心。中2クラスでは数年ぶりに『諸口教室初代教室長 小田先生』が教壇に立ち、生徒たちは非常に緊張感を持ち学習に取り組んでいました。中3クラスはいよいよ受験生、はじめこそ、中2生の意識が抜けきらなかったものの、次第に中3生としての意識ができてきたのか、課題や、演習物をやり切る姿勢にも積極性が出てきました。これまで英語の長文読解を見た途端やる気をなくしていた生徒が一生懸命辞書で調べながら全訳して復習をしたり、早々に志望校を設定し、「この高校に合格するためには何をどう勉強したらいい?」「より速く文章を読むにはどうしたらいい?」など、「ただ言われたことをこなす生徒」から、

「自分でする、自分からする生徒」へと成長している姿が見られ今後の成長がますます楽しみになってきました。

今年の桜は4月の中旬に満開を迎え、一週間足らずで新緑の木へと姿を変えました。毎年桜が散る様を見るのは少々寂しい気持ちになりますが、桜の木そのものが元気であれば、毎年必ず満開の桜を見ることができません。今年も約50名の生徒達が諸口教室を巣立っていきましたが、新たにたくさんの生徒を迎えることもできました。また今年は、私が初めてカイチから高校へ送り出した生徒達が、今度は私と同じ先生という立場で舞い戻ってきてくれました。毎年このような素晴らしい出会いや別れ、そして再会を経験させてくれるこの諸口教室という大木が常に元気で、子供達、地域の人々のために存在できるように今年も職員一同、頑張っ支えていきたいと思います。



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

自主性を育てる カイチの定期テスト対策

福井 幸司 (関目教室)



春期講習後の三者面談でこんなことがありました。

春期講習生として参加してくれていた新中1の男の子。姉が今春、高校受験に合格し、卒業したばかりで、入れ替わるように関目教室に来てくれました。面談で継続して塾に通うことに決まり、ヤル気にあふれた表情で「今から9時間自習が楽しみです!」と言いました。

皆さんに配られる頃には、各教室で定期テスト対策を実施中だと思いますが、ここでカイチのテスト勉強の方法を確認したいと思えます。

カイチではテストの3週間前から定期テストを意識させます。まず「スケジュールシート」の記入をしてもらいます。スケジュールシートの仕組みと狙いを簡単に紹介すると、次のようになります。

- ①その日に勉強に割り当てることが可能な時間を把握する
- ②その週にすべき勉強をリストアップし、必要な時間を知る
- ③①と②を比較し、不足があれば時間をどこかで作り出せないかを考える

スケジュールシートは毎回持参させ、講師がチェックをし、進行状況が思わしくない場合にはアドバイスをおこないます。

中学校生活にまだ不慣れで、ヤル気にあふれた中1生でありがちなのが、勉強時間を過大に当てはめてしまうことです。そういう時は「この日はまだクラブもあるよね? しかも塾のある水曜日だよ。3時間も家で勉強できるかな?」と声をかけると、納得して割り当て時間を修正します。

このような経験を毎回のテストで積み重ねていき、カイチ生はスケジュールリングを身につけていきます。

学校のテスト本番の約2週間前に「定期模擬テスト」を実施します。これは各学校の予想されるテスト範囲に合わせて作られたテストです。この1週間前に「予想問題」を配布し、最初の1週間はこの予想問題の勉強が中心になります。

定期模擬テストが終われば、塾の授業がテスト対策用の授業に切り替わります。定期模擬テストに向けてしっかりと勉強し、合格点を取れていれば、テスト範囲についてある程度仕上がっているとと言えますので、テスト範囲に合った過去問で実践的なトレーニングをします。また、校舎には自由にプリント教材を取り出せる棚があり、必要なだけ勉強することができます。

対策期間中に自分の弱点課題が明確になってくると「作問依頼」で欲しいプリント教材を追加することもできます。

テスト前、最後の土曜日には「9時間自習」というイベントを行います。これは申し込みをいただいたの自由参加ですが、参加率はものすごく高いです。9時間自習を終えて駐輪場に向かう生徒達は、疲れた中にも喜びを感じさせる表情をしています。冒頭で紹介した男の子は姉から9時間自習で得られる充実感について聞いていたようです。

気を付けてほしいのは、9時間自習の時点で学校の提出課題(ワークやプリント)に取り組んでいるようでは高得点は望めないということです。9時間自習では、覚えたことを使えるようになっているのかを確認したり、疑問点を解消するために質問をしたりすることに集中すべきです。「暗記すること」と「記憶を引き出すこと」は別物だからです。テスト前日まで暗記することに時間を取られているようでは、覚えた量に見合った得点を取ることはできません。少なくとも最後の2日間は問題演習(=記憶を引き出す訓練)に集中できるように、しっかりと逆算して計画を立て、実行しましょう。

そして、最後に定期対策で身に付く勉強の仕方が、そのまま受験に役立つことを知っておいてください。定期テストは範囲が決まっており、努力が結果に結びつきやすいテストです。定期テストを通して、学習計画作りや時間管理、各教科の勉強法を実践し、その結果から反省と工夫を繰り返すことで、それらは確実に身に付きます。

まずは目の前に迫った中間テストに全力で取り組んでください。次は1か月もしないうちに期末テストの対策が始まります。「スケジュールを立て、しっかりとテスト勉強をする」の繰り返しで、だんだんと勉強のやり方が身についていきます。

自信は自分でつかみ取れ!

【定期テスト対策スケジュール】

3週間前

- ① スケジュールシートの記入開始
- ② 予想問題の配付

- ① 予想問題を繰り返し解く
- ② 英単語・漢字の暗記

2週間前

- ① 定期模擬テスト
- ② 定期テスト対策授業開始

- ① 学校教材を仕上げる
- ② 塾の対策教材に取り組む
- ③ 作問依頼

最後の土曜日

- ① 9時間自習

- ① 問題演習で最終確認
- ② 疑問点の解消

テスト当日

COLUMN: 先生紹介 ▶ 松田 将吾 (今福教室)

努力の素晴らしさや、目標を達成する大事さを皆さんに伝えられるよう頑張ります。



はじめまして。今福教室で個別クラスを担当している松田将吾と言います。生徒として開智総合学院に通い始めたのは中学校からで、先生方の授業が非常にわかりやすく、今まで苦手だった科目もかなり克服されました。そのおかげで、学校での成績も上がっていき、中学1年の終わりには、実力テストでトップになるほど学力をつけていただきました。中学2年になると、塾でも特進クラスに上げていただき、かなり充実した環境で中学学習を行うことができました。そして、何より開智を続けられた理由は、ただ勉強を教えられただけではなく、先生方の僕たちに対する接し方が、時には厳しい時もありましたが、フレンドリーで、授業1つ1つを楽しさを感じながら受けることができたことです。また、1対1で

志望校のことなどを細かくアドバイスしていただき、どう勉強すればいいのかが理解でき、自分なりのスケジュールを立てやすいことも良かったです。

今回は先生という教える立場に変わりましたが、中学校の時にお世話になった先生方の対応を参考にし、担当する生徒たちのことを本気で考え、自分なりの考えを彼らに伝え、自分自身も彼らを励ますに足るほどの努力を続けて、自分が自信をもって努力のすばらしさや目標を達成することの大事さを心から伝えられるような先生になれればいいなと思っています。

開智の皆さん、若輩者ですがよろしくお願ひします。



熊谷のちょっと イイ話

TEACHER'S VOICE 熊谷 真宏 (今福教室)

S&B ちびっ子健康マラソン2位!

「R君、本当に足が速いですね。一度、何かのちびっ子レースに出ればどうですか。いい経験になると思います。」と話したところ、早速、お母さんがインターネットで見つけたS&Bのちびっ子健康マラソンにエントリーされました。

授業後、教室の周りを走り回る姿が綺麗で、何より走ることが楽しそうなのが印象的でした。大会当日は、参加人数が284名と予想以上に多く、実業団のジュニアチームなど本格的に陸上をしている子供達が多数参加していることで、ガチガチに緊張していたそうですが、最後に競技場に戻ってきたときには7位。最終トラックで5人を抜いて2位でゴールしたそうです。

R君は今回の大会前はもちろん、幼稚園の時や、小学校で行われるマラソン大会でも早

朝から欠かさず、お父さんとトレーニングをするのだそうです。努力は全てが結果に繋がるわけではありません。でも、結果を出す人はみんな努力を続けています。彼にとって、努力の末に掴んだ結果だけに大きな自信になったのではないかと思います。

また、彼の努力の背景には、練習に付き添ったお父さんだけでなく、家族全員のサポートがあったことと思います。そのようなご家族の姿勢も本当に素晴らしいと思います。

低学年は、人生で『できた』体験が最も多く経験できる時期です。R君はたまたまそれが走ることだった。でも、全ての子供達に『できた』体験はあります。努力を重ね、何ができる経験は子供達に自信を与えます。そして、自信は「なぜできなかったんだ」と失敗を反省する力を生み、反省する力は苦難を乗

り越える力となります。

私達は学習や珠算指導を通して、子供達が1つでも多くの「努力の末にできた」を体験できるように、指導できればと思います。



第30回
阪急オアシス・S&B杯
ちびっ子健康マラソン大会
(2017年3月26日)



カイチからのお知らせ

■5月中旬より各中学で中間テストが実施されます。それに伴い塾内では4月下旬より定期テスト対策を行っております。お子様の学習の様子に不安があります時は各教室にご遠慮なくご相談ください。

■5月13日・20日(土)・27日(土)(※学校により9時間自習日は異なります。)は中学生対象で9時間自習を13時~22時で行います。定期テストまで最後の追い込み、みんなで頑張ります。